

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	(株)ケアジャパン
(ユニット名)	グループホームハッピー余戸よしこハウス
記入者(管理者)	
氏名	森 律子
評価完了日	平成20年5月31日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「あなたのやってみたい・行ってみたいを大切にします」の理念のもと、地域の行事にも参加し、又、ボランティアの訪問も頂いています。 (外部評価) 事業所では、「利用者が主役」の暮らしを支援することを目指し、理念が作られており、利用者が地域とかわりながら暮らせるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 事業所全体の経営理念とホーム独自の理念があり、実践に向けて、日々取り組んでいる。理念についても利用者さんの声をもとに、今何を思い何が必要かを考え理念の中に取り入れ、取り組んでいます。 (外部評価) 管理者・職員は、申し送りやカンファレンス時に、理念にもとづき話し合われている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で理念などを理解していただくよう報告し、お伝えしている。家族の方が来所した際、良く分かる所に提示し伝えるようにしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日々の生活の中で、散歩・買い物の時など近隣の方と挨拶話などをしている。		ホームが2階の為なかなか気軽に立寄るところまでいっていないので今後考慮したい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 年に一度の盆踊りに参加し、又、7月の市民大清掃にも参加している。 町内の行事の案内等、運営推進会議や回覧板等にて知る事が出来、参加出来る催物には参加している。 (外部評価) 地域行事への参加の他にも、今春は、近所の方宅の庭先で桜の花を見せていただいた。事業所の広場で餅つきを行った際には、近所の方にもおすそ分けをされた。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者等の暮らしに役立つ事には、取り組めていない。		入居されている家族の方から介護技術や知識をお伝えする機会をつくっていききたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 年に一度の自己評価と年間目標をたて、実施状況の報告をしている。個々のスキルアップを目指して、研修や自主学習を行なうようにしている。 (外部評価) 管理者は、職員から意見等を聞き取りながら自己評価を作成され、カンファレンス時、皆で話し合いまとめられた。職員は、日々のケアについて振り返り、利用者個々の出来ること出来ないことを見極めた支援の大切さを感じておられた。前回の評価結果を受けて、ペランダの活用について力を入れて取り組まれた。プランターに花を育て、利用者とお水をやりをされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			現在のホーム中の状態や、ご利用者さんの生活状況をお伝えし、家族さんからの思いや意見を言って頂き、地域支援センターの方にアドバイスを頂いている。		
			(外部評価)		
			会議には、老人会、民生委員、ご家族の方も出席いただいている。ご家族には会議の案内時に意見を書いていただくようにされており、会議で話し合われている。又、地域の方からの質問にも答える等、より事業所を知っていただけるよう、取り組みをすすめておられる。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市の主催する講習会、研修会には、参加しています。		
			(外部評価)		
			医療制度について教えていただいたり、市の職員の研修を受け入れておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			成年後見制度を実際に利用しその方がより豊かに生活出来るよう意見交換をしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			身体的虐待は、行なわれていない。		言葉の暴力、精神的虐待については、職員のストレスがたまらないようケアしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に家族と話し合い、疑問点や不安に思っていることはお聞きし納得していただけるよう説明をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し、いつでも気軽に意見を出せるようにしている。しかし、充分活用されていないので工夫していきたい。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 入居前の健康状態、暮らしぶりは電話や訪問された際にお話しています。金銭管理は出納長をコピーし領収証と共に定期的にお渡ししています。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議や来所の際ご家族に意見などを言っていたおおだき、改善するよう努力している。		出席できない場合意見が出せれるように配慮していきたい。(出欠席のはがきに意見欄を設ける)
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話等で、ご本人の日頃の暮らしぶりや金銭管理状況を報告されている。連絡が取りにくいようなご家族には、お手紙を送っておられる。		
			(外部評価) 職員は、「家族ならどうだろう」という視点で考えながら、話し合いを行なっておられる。又、ご家族のご意見には法人も含めて検討し、改善に取り組まれている。年2回の家族会は、ご家族が参加しやすいよう行事と合わせて行なっておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 「なんでもいいま書」を利用して職員からの改善のしくみがあります。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応に向けた勤務調整は出来ている。(緊急時、利用者さんの状態の変化の時)		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職を必要最小限に抑え利用者へのダメージを防ぐ努力をしている。 (外部評価) 新しい職員は、経験の豊かな職員とともに、利用者とかかわるようにされている。2ユニット合同のお出かけ等もあり、職員は、ユニット間でも行き来され、顔馴染みになっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 年に6回の内部研修をしています。又、外部研修については、情報をミーティングの時に共有し参加を募っている。 (外部評価) 母体事業所が国際標準化機構ISOを取得しておりホームでも職員一人ひとりが目標を定めて日々取り組んでおられる。テレビや新聞からも情報を得て、職員は自主的にも勉強をされている。		事業所では、今後、勤務のシフト等も工夫しながら、職員が外部研修を受講できるよう、すすめていきたいと考えておられた。職員のさらなるレベルアップからも、事業所のさらなるサービスの質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他のグループホームの研修の受け入れはしている。市の取り組みで、他のグループホームにて話し合いが行われた際見学をさせて頂いた。又、地域の同業者と交流する機会が年数回あり参加しています。		年に1, 2回は他のグループホームの見学をしていきたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターの会議等で、他事業所と困っていること等について話し合ったり、意見交換等をされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員のストレス軽減に向けた取り組みは不十分である。一日の流れの中で休憩が取れる際は交代で取っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			資格取得の祝い金を創設し個人のスキルアップの支援をしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前にご本人から困っている事、不安なこと、求めていること等を聴き受けとめるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に、見学等をして頂いたりする際、ご家族から困っていること、不安なこと、求めていること等を聴き受けとめるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談の際、本人、家族が必要としていることを見極め支援を行なうよう努めている。又、他のサービスを利用することも見当している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人が安心し納得したうえまずは新しい環境に慣れた上であせらず徐々にサービスを開始するようにしている。		
			(外部評価) 入居前には、ご本人を訪ね、様子をうかがい、生活歴の把握に努めておられる。又、ご家族とも相談しながらご本人がゆっくりと事業所に馴染めるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一方通行にならないよう家事参加への声かけをし、共に活動している。又、ご本人の得意な事は教わるなどしている。 日々の生活の中で入居者さん同士助け合っている姿も見られる。		
			(外部評価) 利用者から料理の味付け、野菜の下ごしらえ等を教えていただくことも多い。又、外出の際に、利用者が「帽子をかぶりなさいや」と職員のことを気にして下さることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の協力ははしていただいているが共に本人を支えるというのではなく、こちらにまかせるという気持ちが強い。ホームに訪問し様子を知らせていただけるよう働きかけている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族に情報提供しお互いに安心していただけるように支援している。 遠くにいるご家族に対しては月に1度手紙にて近況をお知らせしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 知人や友人など今まで培ってきた人間関係を継続できるよう支援している。 馴染みの方が気軽に立寄り話ができるよう支援していきます。今後個々のケースとして今迄の馴染みの場所へ行く等の支援もしていきたい。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 生活の場で共に作業をしながらお互いに協力し助けあっている。歌や話の中に職員が入り孤立しないよう努めている。 車椅子の入居者が困っていると手助けをする場面も見られるようになった。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの思いや暮らし方の希望意向についてはよく聞くようにしている。困難な場合は本人の視点にたって職員間で話し合っ取り組んでいくようにしている。 一人一人の言葉を個人記録に記入し、言葉の中から今現在の希望意向について考え取組んでいる。</p> <p>(外部評価) 職員は、コミュニケーションのむづかしい方についても「ご本人の視点」に立って考えるようにされており、ご本人からの返事や声のトーン、表情等からも思いの把握に努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 入居時にご家族から聞いたりご本人との会話の中で理解し把握するようにしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) その日の健康状態、活動の様子等を見て出来る事、出来ない事を把握し職員間で情報交換し、支援するよう心がけている。一日の動線を多く作るよう工夫している。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 介護計画については、本人、家族、職員等のようにするのが最適か意見交換し行なうようにしています。</p> <p>(外部評価) ご本人・ご家族の希望を聞き取り、職員でも話し合い、介護計画を作成されている。時に、併設のデイサービスの看護師の方の意見等も採り入れておられる。手順書を作成し、職員で同じケアを提供できるよう取り組まれている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の単期間の見直しは行なっている。変化が生じた場合は、ご本人、家族には情報交換し必要な関係者とミーティング等で話し合い支援している。		
			(外部評価)		
			介護計画は、3か月の定期的な見直しと、状態変化に合わせて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子やケア又は、その時々の入居者さんからでた言葉は、生活記録に記入し職員間で情報を共有し入所者の言葉の中から今必要なケアを取組み介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			グループホームに入居している方のその時の状況、家族の意向により、手話通訳、マッサージ等利用している又、入浴もディの特浴など利用しご利用者さんに満足して頂けるよう支援している。		
			(外部評価)		
			併設のデイサービスとの交流があり、マッサージを受けたり、イベント等にも参加されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 囲碁のボランティア、手話をお願いしたり消防訓練の実施、運営推進委員会での民生委員、町内会長、老人会長の参加等協力をお願いしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向や必要性に応じて他事業所の訪問看護、手話通訳を利用しています。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂いています。ご家族さんの相談等も聞いて頂いている。 地域の連絡協議会に参加しています。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 家族、本人の希望により、かかりつけの医師と連携を取り個々の状態に応じて相談、指示を受けている。 (外部評価) 協力医療機関といつでも連絡、相談ができるようになっていく。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけの医師を通して専門医師とのつなぎをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 入居者の医療的な処置は、看護職が対応し又、日常の健康面で気がかりな事は、その都度、相談、アドバイスを受けている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した際は、病院関係者と情報交換している。又、退院の際には、家族・病院側と相談し情報を得ている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化については、ホームで出来ること、出来ないこと等を段階に応じて、家族・医師との話し合いを行い、理解協力を得るようにしている。終末期については本人の意思を尊重し家族にみとりの指針について説明し、医師・家族・職員と話し合いを重ね理解、協力を得てみとりを行いました。 (外部評価) 持病のある方についても、ご家族・ご本人・医師・職員と今後の方針を話し合い、繰り返し相談するようになっていく。		終末期については、今後も家族会の際、話し合っていきたい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 今の段階でみとりの指針等にそって重度化や終末期に向けた支援の取り組みや検討・準備を行なっている。		終末期については、今後も家族会の際、話し合っていきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えの際には、ご家族との話し合いを十分に取 り、次に移るケア関係者間で十分話し合い、情報交換をしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>排泄・更衣の際の配慮、声かけのタイミング・場所等、十分配慮するよう心がけています。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が納得し、決めることができるような問いかけをし、職員本意にならないよう心がけています。一つ一つの声掛けにも自己決定出来るようにしそれぞれの分かる力に合わせ納得がいくまで説明を行っています。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の暮らしの中で、今何に興味を持っているか、一人一人の声、言葉に耳を傾け、何がしたいかを希望に添えるように支援しています。その日職員の状況においては希望に添えない日もある。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>調査訪問時の昼食後は、それぞれに歯磨きを行い、テレビを見たり、居室で休まれたり、おしゃべりを楽しまれていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣の際、季節にあった好きな服を選んでもらったり、季節に合わない服を着ていたり、毎回同じ服を着ていたりする際は一緒に遊ぶようにし、又、理容は行き慣れた所に連絡し、又、美容も希望によりホームに来て頂いています。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 何が食べたいかをお聞きし、食材の下ごしらえ等は共に行い、片付けは、ご自分の食器はご自分で片付け、皿洗い等も一緒に行なっています。又、配膳の際ご自分のコップ、箸を用意してもらっています。 (外部評価) 併設の配食センターで月・水・金(昼食のみ)食事が届くようになっている。その他の食事は事業所で作るようになっており、職員は、利用者とともにお話ししながら楽しく食事をされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの好みを聞き、用意し、飲食していただいています。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を見て、時間を見ながら、声かけ、トイレ誘導をしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 朝のバイタルチェックの際、入浴の有無を聞き、健康状態を考慮し、入浴していただいています。		
			(外部評価) 毎日入浴を希望される方も支援されている。利用者の好みの入浴剤を利用されたり、お湯はその都度入れ替えておられる。利用者の状態によっては、併設サービスの特設浴槽を利用される方もある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 入居者さんに応じて支援している。 疲れやすい方は昼寝を短時間取って頂いています。		生活のパターンが決まっていないために、昼と夜のバランスがとれない方がいる。 夜間、安眠出来るよう日中の活動を工夫していますが、昼と夜のバランスを取るのが難しくなかなか上手く行かない方がいます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 入居者さん自ら役割を見つけ、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。 居室の掃除、洗濯物を干す、たたむ、食器の片付け、食材の下ごらえ等の家事活動、塗り絵等の趣味活動を日々のくらしの中で取入れています。まだ張り合いを持ってする所まではいっていない。		
			(外部評価) 囲碁を楽しまれる方は、ボランティアの方と対戦されたり、囲碁の指し方等、新聞を切り抜きをされていた。食後の片づけ等をされている方もうかがえた。		さらに、ご家族とも相談しながら、利用者一人ひとりの興味のあることや行なってみたいことを探り、利用者個々がより社会的な生活を送ることができるよう、支援の工夫を重ねていかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している。 お金を所持する際、どこに置いたか分からなくならない様支援していきます。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は、近くの公園に散歩、買い物等に行き、月2回のドライブなど外出の計画を実施している。		
			(外部評価)		
			毎日の散歩やスーパーに買い物にも出かけておられる。庭先でおやつを楽しまれたり、車に乗ってドライブに出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族が訪問した際、外食外出をしたり行事の内容によっては家族の参加を呼びかける機会をつくっている。		今後は個別に希望を聞き、行ってみたい所へ行く支援をしていきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話や手紙は自由に出来るようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や馴染みの方がいつでも訪問していただけるようにしている。又、訪問していただいた際は居室やリビングで過ごしていただくようにしている。宿泊等もして頂いています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室は鍵をかけていない。玄関は入居されたばかりで帰宅願望が強く戸外へでてしまわれるので、その時の職員数で対応出来ない時は鍵をかけています。玄関の出入りはチャイムが鳴るようにしている。 (外部評価) 玄関を出入りするとチャイムが鳴るようになっている。		帰宅願望が強くなった場合の対応について工夫し鍵をかけないケアに取り組んでいます。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 生活記録により何をしているかを職員が把握するようにしている。「ひやりはっと」等に書き情報を共有する事で安全を確認するようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態と希望に応じて危険を防ぐ取り組みをしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて事故防止に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変や事故発生時の初期対応については、ミーティング等で周知徹底している。 避難訓練の際、初期対応・応急手当の講習を受けました。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の避難訓練を行い、緊急連絡網も作成している。 運営推進会議にて災害対策の講習をして頂き地域家族と共に勉強会を行ったり、避難訓練の際は地域の方の参加もして頂いている。		
			(外部評価) ユニットごとに防災マニュアルを作成されている。避難訓練時には地元の自警団の方も参加され、2階の利用者の安全な避難方法についてアドバイスをいただいた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に話し合いをしている。身体の状態の変化に応じて随時、話し合いをしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェックをし、体調の変化異変の発見に努めている。気づいた際は、速やかに看護師に報告しかかりつけ医に連絡するようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬については把握し、服薬チェック表にて服薬の管理をしている。症状の悪化のあった場合は、かかりつけ医に連絡・相談している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排尿・排便チェック表にて有無を確認しています。便秘にならないよう水分補給をしていただたり、牛乳・プルーン等を飲食していただき要望に努めています。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後必ず歯磨き、うがいをするように声かけしみがき残しがないよう確認し、仕上げをしている。歯科衛生士による指導も受けている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの1日の食事量、水分量はチェック表に記入し職員が把握し支援している。 (外部評価) 利用者の状態に応じて、きざみ、すりつぶし等、できるだけ口から食べられるように調理の工夫をされている。一人ひとりの食事、水分摂取量を記録し、排尿、排便等とも合わせて考えておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 職員の手洗い、うがいを常に心がけるとともに台所、トイレ、てすり等の消毒も常に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理用具の消毒は毎日行い、食材は毎日その日に使う物を買ひ、その日のうちに使うように心がけるとともに常に冷蔵庫の中のチェックをしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ビルの2階のためホームへの入口がわかりにくいいため工夫したい。</p>		<p>1Fの玄関のところに表示をしたい。 1Fがデイサービスということもあり、マッチした表示を考慮中で実現には至らない。今後検討していきたい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居心地良く過ごせるように工夫している。 季節の移り変わり等気づく事が出来るよう壁面等工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>民家改修型のユニットは、天井や家具等も懐かしい雰囲気をかもし出しており、畳スペースや玄関先に椅子が置かれていた。多機能施設2階のユニットは、居間で利用者が囲碁や折り紙をされたり、ボランティアによるミニコンサート等も行われている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>いつでも自分の行きたいところに行けるよう又、気の合った仲間と過ごせるようテーブル、ソファの位置を時々移動し様子を観察し、思い思い過ごせるよう考慮している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居の際、今まで使用していた物を持参していただき、家族と本人が相談しながら部屋の配置をしていただいている。		
			(外部評価)		
			居室には、タンス、仏壇、ご家族の写真、テーブル等が置かれ、大きく引き伸ばした写真やご本人の好きなぬいぐるみ・人形等が飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			適時、窓を開け空気の入替えに心がけている。気になるにおいはどこから出ているのかを点検し片付けるようにしている。温度調節はこまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価)		
			安全な環境づくりを行い自立した生活がおくれるように工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			使い慣れたものを使っていただき、新しい物については名前を書き、わかるようにしている。 居室・トイレ・浴室等場所が分からなくて混乱しないよう工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダは洗濯物を干している。又、花やネギ等を植えている。		ベランダの安全面での有効活用を工夫したい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	暮らしの中で一人ひとりの思いや願いをお聞きしどのような願いや思いを把握して支援しています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	排泄介助、入浴、家事等で忙しく、その日の職員の人数等によってはゆったりと過ごせない日もあり、ゆったりと過ごせる日はコミュニケーションを計り、しりとりやトランプ等して過ごしたり出来る日もある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	共同生活の中で一人ひとりのペースで自由に暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自立支援ということで自分でできることはしていただいくように支援している。1日座って過ごすのではなくホームの中で動いていただけるよう工夫している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が付き添う場合、戸外へ出る人数が限られるため、全員がそれぞれその日に行きたいところへ行くことは困難である。入居者によっては、家族の方が月一回外出・外食の機会をつくる等協力して頂いている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、かかりつけの医師の往診等を行い、健康管理、医療面等では、不安なく過ごせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望の内容や職員のその日の出勤状況においては、すべての利用者の希望に答えられない場合もあります。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	電話等での状況報告、来所により家族とのコミュニケーションを図っている。又、遠くにいる家族には毎月近況報告の手紙を出している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	地域のボランティアによる催し等を行っている。入居者さんの前からの友人が訪ねて来られる。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ②少しづつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通し、民生委員、町内会の方の出席をお願いし行事に参加する中で、 少しずつホーム等の理解をしていただいている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ②職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日の流れの中で気分の切り替えが出来るよう交替で休憩を取り、少しでもストレス が貯まらないようにしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	共同生活の中で常に利用者の思うようにはいかない場面あり、すべての利用者が満足 しているとは思えない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	サービス等についてはよく家族等と話し合っ進めている。特に不満の声は聞いてい ない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

あなたのしてみたい、行ってみたいを大切にします。
あなたの笑顔が私たちの喜びです。
この町で暮らし地域の一人として生活して行く事を支援します。
以上をホームの運営理念のもとお一人おひとりの声をお聞きし、今、何に困っているか何をして欲しいかの声を受け止め、希望や願いが叶うようミーティ
ング・カンファレンス等で話し合い工夫しながら支援をしていくよう心掛けています。
又、地域の行事等に参加し地域の人達と触合う事で、この町で暮らしているという実感がわくよう取組んで行きたいと思っています。
日々の生活の中では、「退屈やなー」から「あー忙しかった」という声が聞けるよう工夫していきたいと思っています。